

V S O P

飯豊町立飯豊中学校
第2学年通信
No.17
令和2年7月3日

今年度初の定期テスト終了

新型コロナの影響で、1学期最初で最後のテストとなった期末テスト。範囲も広く大変でしたが、本日無事終わりました。自治会では、この大切なテストにしっかり取り組んでほしいという願いを込めて、40時間の家庭学習を目標に取り組んできました。日々目標達成者の名前が増えていく様子から、皆さんのテストに向かう頑張りや意欲が伝わってきました。

今回の取り組みで目標時間を達成した人は以下の通りです。

(2-1) 浅野 泰芽(29) 前田 誠希 船山 美咲(30) 五十嵐成那 石井 蓮斗 伊藤 琉生
岡田 絆 齋藤 優仁 佐原 大斗 鈴木 優介 新野 優風 船山 琉伊 前田 誠希
宮 遙来 渡邊 翔 渡部 史鵬 菅野 柚季 菊地 杏音 今 彩夏 長沼 沙那
船山 夏楓 渡部 紗菜 (2-1は日付のチェックができなかったため結果のみ掲載します)

(2-2) 長沼 美優(27) 小川 竜弥 高橋 史華 高橋 杏奈 木村 紗也(28) 手塚 皓喜
樋口 蘭翔 長沼 もえ 田辺瀬里加(30) 伊藤 友惺 井上 桜汰 大城 凧人 舟山弥寿佳
大石 夏音(1) 安部紳ノ介 安部 董矢 手塚 蓮音 五十嵐亜美 伊藤 里穂 孫田 姫華
船山瑛留美 横澤 咲空(2) (敬称略) ()は達成した日です。

ところで、今回の目標は「時間＝学習量」でしたが、「内容＝学習の質」はどうだったでしょう。答え丸写しの提出物・誤答を直しただけの学習だった人はいなかったでしょうか？

テスト結果(得点)を見て、一喜一憂する人は多いと思います。しかし、社会に出れば、テストそのものはありません。必要なのは「テストの点数」ではなく、その人が「何を手掛かりに」、「どんなやり方で」、「答え(と思われるもの)」を導き出せる人なのかということです。そのために、中学校では、ゴールが見えている(答えのある)問題に対して、自分なりの進め方(学習方法)を数多く身につけ、様々なアプローチで成功の経験値(結果)を上げることがとても重要になります。誤答を直すだけの学習では、正しいゴールへの道は理解できませんし、答え丸写しでは、ゴールへの道そのものを探す力が身につけません。逆に言えば、残った結果が思わしくなくても、きちんと取り組んだ結果であれば、失敗体験から学ぶことはたくさんあるはずです。

定期テストは、皆さんの学習の定着度を先生方が測るものであると同時に、皆さんの日々の学習の進め方が適正であったかどうかを自分自身で「検査」するものでもあります。結果が十分でなければ、その進め方(学習方法)は適正ではなかったということです。改善点を考え、取り組み方に変更を加える必要があります。

テストは終わりましたが、結果が戻ってくれば、新たな学びがスタートします。今日ぐらいは一息ついて、この週末は次の目標を考えてみましょう。(もちろん今日から始めても構いません。)

